

# 平成19年度 第3回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

## (議事要旨)

1 日 時： 平成19年7月30日(月) 14:00～16:00

2 場 所： 市役所庁舎 5階 特別会議室 A

3 出席者：

委 員(五十音順)

・石田委員長、片山委員、城水委員、中島委員、福地委員

市 側

<総務市民局>

・梅本経営企画室長、古澤経営企画室次長 他

<産業学術振興局>

・川久保学術振興課長 他

<公立大学法人北九州市立大学>

・本村事務局次長、江島経営企画課長、二宮総務課長、大谷管理課長 他

4 議 題

(1) 北九州市立大学の19年度計画の説明について

(2) 北九州市立大学の平成18年度財務諸表及び剰余金の繰越承認について

(3) 北九州市立大学の平成18年度業務実績の項目別評価について

(4) その他

5 議事 (要旨)

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">(1) 北九州市立大学の19年度計画の説明について</div>
委員長	<p>それでは、議題に従って進行します。最初の議題は、北九州市立大学の平成19年度の年度計画の説明についてです。当初は、第4回目に行われる予定でしたが、大学がその日に出席できなくなりましたので、本日も行っていただきます。それでは、大学からご説明いただきたいと思います。</p>
大学	<p>《大学より別紙「19年度計画」について説明》</p>
委員長	<p>ありがとうございました。委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。</p>
委員	<p>今説明された年度計画と中期計画との関係はどう見ればいいですか。中期計画を実行する上での年度計画となっており、項目間の対応関係を示すことはできますか。</p>
大学	<p>中期計画の項目に完全に合う形で年度計画を策定しておりません。年度計画の方は、教育・研究・大学運営・社会貢献といった少し大きめな括りで整理しています。そのため一対一で対応しているわけではありません。</p>
委員	<p>しかし、評価する立場からすると、中期計画で掲げている項目をどれだけ達成したかということに関心を持たざるを得ず、中期計画との対応関係をはっきりさせていただく必要があります。</p>
大学	<p>私たちも中期計画と年度計画が輻輳していて、評価が難しいと認識していますが、19年度計画は従来どおり作成させていただきました。対応関係は今でもお示しすることはできます。対応関係が分かりにくいものもありますが、来年の評価の際には整理したものをご提出したいと思います。</p>
委員	<p>それについては、前回も前々回もお願いしていました。今回18年度計画では、中期計画が終わったものについて「該当なし」という項目がありましたが、そのようによりすっきりと整理して欲しいと思います。大学としては、中期計画に少しでも関連するものは、計上したいという思いはあるのですが。</p>
大学	<p>そういう形で整理したいと思います。</p>

委 員	<p>私たちは初年度から言っていますが、それでもできないということは、整理がまずいのではないかと思います。大学を改革するうえで、あれもやってるこれもやってるという形だと、一般の人に説明しにくいと思います。もう少し絞っていただきたいと思います。</p>
委 員	<p>9つの主要プロジェクトの第三弾としてあげられている項目については、大学活動の底流としてあるものであり、19年度の企画としては目新しいものではないので、もっと次の段階のものがあがってくるべきだと思います。</p>
大 学	<p>まず、学内全組織をきちんと整備するということを優先して取り組みましたが、ご指摘については、今後検討していきたいと思います。</p>
委 員 長	<p>他に質問等はありませんか。それでは、次の議題に進みます。</p>
	<p>(2)北九州市立大学の平成18年度財務諸表及び剰余金の繰越承認について</p>
委 員 長	<p>前回に引き続き、平成18年度における「北九州市立大学の財務諸表及び剰余金の翌年度繰越承認」についてです。</p> <p>それでは、前回議論になりました点について、大学からご説明いただきたいと思います。</p>
大 学	<p>《大学より「18年度決算 評価委員会の確認事項」について説明》</p>
委 員 長	<p>ありがとうございました。委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。</p>
委 員	<p>今の説明を前回していただければよかったと思います。</p>
委 員 長	<p>他に質問等はありませんか。それでは、意見がないようですので、「財務諸表及び剰余金の繰越の市の承認」について、「意見なし」としてよろしいでしょうか。</p>
	<p>《各委員了承》</p>
委 員 長	<p>では、次回の委員会で正式に「意見書」として決定したいと思います。</p>

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>( 3 ) 北九州市立大学の平成 18 年度業務の実績について</p> </div>
委員 長	<p>それでは、次の議題に移ります。北九州市立大学の平成 18 年度業務実績の項目別評価についてです。それでは事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>本日の委員会では、項目別評価についてご審議いただき、それを踏まえ次回の委員会で分野別評価、全体評価をご審議いただきたいと考えております。</p> <p>それでは、お手元の A 3 版の資料をご覧ください。これは、先日委員の皆様各自評価いただき、事務局に提出いただいた内容をもとに整理したものです。一番右側の欄に網掛けをしている項目がございますが、これは、複数の委員が他の委員と異なる評価をされた項目です。この項目については、前回と同様、各委員の 4 段階評価を平均した評価を記載しております。</p> <p>委員の皆様のお意見が分かれた、これらの項目（網掛け部分）について、まず大学から説明をいただいたうえで、質疑をしていただきたいと思います。また、網掛けされていない項目については、「全委員の評価が同じ」もしくは「お 1 人だけ他の委員の評価と異なる」ものですが、これらについても、ご質問等があれば併せて行っていただければと思います。</p> <p>一通り、質疑をいただいた上で、大学には退出してもらい、事務局から、委員の皆様のお意見が分かれた項目、網掛け部分について、それぞれの項目の評価のご確認をさせていただきます。また、網掛け以外の項目でも、ご異論があれば、議論していただければと思います。</p>
委員 長	<p>分かりました。それでは、網掛けしている部分について、大学からご説明いただきたいと思います。</p>
大 学	<p>《大学より別紙「業務実績に関する評価案」の網掛け部分について説明》</p>
委員 長	<p>ありがとうございました。委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。今、ご説明のありました網掛け部分、またそれ以外の項目でも結構です。</p>
委 員	<p>9 ページの一番上の年度計画 38 の進行状況は ですが、同じ年度計画なのに、8 ページの中期計画 17 では となっています。これはどういうことでしょうか。</p>
大 学	<p>中期計画 17 は、「社会システム研究科と国際東アジア研究センターとの連携講座を開設し、社会システム研究科博士課程を拡充する」であり、それに対する進行状況は です。9 ページの中期計画 20 は、「文系修士課程と社</p>

	<p>会システム研究科博士課程との再編等を図る」となっており、それに対しては とさせていただきます。同じ年度計画でも中期計画の記載内容によって評価を変えております。</p>
<p>委員</p>	<p>地方独立行政法人の評価の基本は、目標管理型であり、プロセス評価ではありません。どれだけ努力したかではなく、掲げた数値目標をどれだけ実現したかということだと思います。18 年度に大学院再編を行うようになっていて20年度に予定を変更した項目について、目標を上回ったとして評価しているのは、プロセス評価で行っているとは思えません。</p>
<p>大学</p>	<p>ご指摘の通りですが、年度計画をかなり前倒しした形で作成してしまっていて、中期計画の記載内容で見るとかなり進んでいる項目についても、年度計画をそのとおり評価するとかなり厳しい評価になってしまうため、評価の際には中期計画の観点からも評価を行っています。</p>
<p>委員</p>	<p>厳しい評価にならないように、6年間のロードマップとしてきちんと年度計画を策定する必要があるんじゃないですか。</p>
<p>大学</p>	<p>今年度は3年目に入りますので、これまでの取組みの総括を行い、今後3年間をどのように取り組むかについて整理したいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>各大学とも学生の確保についていろんなことをされていると思いますが、北九大で特徴的な取組みは何ですか。また、6000人以上の志願者確保に対して19年度の志願者がその7割強ですが、今後どうしていくか何か方策はありますか。</p>
<p>大学</p>	<p>大学の学生が参加したキャンパスツアーや、鹿児島まで出向いたオープンキャンパスなどがあります。また、高校の進路指導担当者との懇談会やオープンキャンパス等のPRを積極的に行っており、昨年度と比較して参加者が増えています。6000人達成については、計画策定当時より18歳人口の減少が進んでかなり乖離がでており、見直しを検討する時期にきていると認識しています。</p>
<p>委員</p>	<p>北九州市立大学らしい学生の集め方や学生の層をどのあたりに定めるのかで、取組みが変わってくると思います。東京大学は、教授以下が中国まで行って学生のヘッドハンティングを行っています。北九州市立大学がどのような取組みをやっているかが表に見えてくると、高校生も北九大を選びやすいと思います。</p>

大 学	A O入試を検討する中で高校との連携を深めていきたいと思います。
委 員	鹿児島でオープンキャンパスを行うのは、どうしてですか。
大 学	過去からのデータを見ると鹿児島と広島の入学者数が多く、鹿児島と広島には力を入れています。
委 員	東京事務所での活動の成果について実施状況に記載されていませんが、実際のところ成果はあがっているのでしょうか。
大 学	東京から 10 名、神奈川から 10 名の入学実績がありましたが、マンパワーを投入して、積極的な広報活動を行うのは関西以西を中心としています。
委 員	東京事務所は、就職支援や文科省との折衝ということでは有効だと思いますが、関東圏からの学生の確保を中期計画で掲げて実績をあげるのは難しいと思います。
委 員	留学生に対する呼びかけに関することなんですが、文科省では 3 年前に大学国際戦略本部強化事業ということを始めまして、20 大学に年間 1000 万～2000 万円を支給していますが、公立大学では会津大学が採択されています。このプロジェクトに応募はしましたか。
大 学	しておりません。
委 員	国際化を掲げる以上は、こういった動向を調べておく必要があると思います。多くの大学、早稲田や九大、立命館などがアジアを向いています。アジアを舞台に国際化をすすめようとするすると相当熾烈な競争があります。
大 学	アジアではないのですが、19 年度計画では、アメリカのタコマに派遣留学を行うよう掲げました。
委 員	いいことだと思います。アジアばかりに目が向く傾向がありますが、むしろ本命である欧米にネットワークを広げることが大事だと思います。
委 員	39 ページの中期計画 7 4 では、「学研都市内に研究プロジェクトを誘致できるスペースと施設を確保する」となっていますが、それに対する年度計画と実施状況がスペースの確保に関係ないにも関わらず となっています。消

	<p>火剤の開発の成果がいろんなところに出てきており、中期計画との対応関係があいまいになっています。</p>
大 学	<p>中期計画74に直接関係する年度計画を作っておらず、関連する年度計画を中期計画に対応させたことにより、このようなことが生じています。</p>
委 員	<p>中期計画で評価した委員と年度計画で評価した委員とで、評価結果が分かれてくると思います。</p>
委 員	<p>実際には中期計画に対する年度計画を策定していないのだから、無理に年度計画を再掲しないで、該当なしでいいと思いますが。</p>
委 員	<p>副学長をトップとする評価室を作ったということですが、他の大学にはないのですか。他大学との比較が判断材料としてないと評価が難しいのですが。</p>
大 学	<p>副学長をトップとした組織とし、大学として力を入れたということで、としました。</p>
委 員	<p>科研費が17年度と比べ件数は増えていますが、金額は減っています。さまざまな大学で外部資金の獲得について努力していますが、最も大学の評価に結びつくのは科研費です。科研費について大学の裏のランキングがあるほどです。科研費はもっと注視すべきであり、目標を安易に立てすぎだと思えます。ここで問題なのが、申請が少ないことです。他の国立大学では、学長、副学長が必死になって申請をすすめて、どこの大学も申請率が上がっている中で、下がっているということは問題だと思えます。</p>
大 学	<p>継続分を含めた申請数はもっと多いですので、次回、16年度からの継続分を含めた申請数をお示ししたいと思います。</p>
委 員	<p>83ページの適正な資産管理のところ、大学施設を貸し出して財源を産むということなんですが、目標はありますか。</p>
大 学	<p>数値目標は設けていません。</p>
委 員	<p>大学施設の市民への開放というところとバランスをとる必要があり、難しいのですね。</p>
委 員	<p>この計画が社会貢献の分野にあがってくるか、財務の分野にあがってくる</p>

	<p>かで、考え方が変わってくると思います。</p>
委員長	<p>他に質問等はありませんか。2年目ということでいろいろと細かい意見がでていますが、ご検討よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、今の大学からの説明を踏まえ、項目別評価を審議したいと思いますので、事務局から網掛けの各項目について確認をお願いします。また、網掛けしていない項目についてもご意見があれば、お願いいたします。</p>
事務局	<p>分かりました。ページをめくりながら進めていきますので、その都度ご意見をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">《事務局より網掛け項目の評価を一つずつ委員に確認》</p>
委員	<p>39ページの研究プロジェクトの誘致のためのスペース確保については、市が力を入れて、お金を注ぎ込んできたひびきのキャンパスですので、もう少し努力が必要だと思います。ではなく、がいいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《各委員了承》</p>
委員	<p>79ページの外部研究資金の確保については、目標を下回っていますが、年度計画であまりにも不用意に目標を設定したところに問題があると思います。今後、年度計画の立て方を慎重にさせていただくということで、でいいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《各委員了承》</p>
委員長	<p>他にご意見はありませんか。では、今後の予定について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回の委員会では、大学の18年度実績の分野別評価、全体評価を含めた評価結果案をご審議のうえ、決定いただきたいと思います。また、大学の財務諸表と剰余金の繰越しについての意見書についても決定いただきたいと思います。</p> <p>次回の委員会は、8月8日(水)の14:00から、場所は15階の特別会議室Cということでお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。それでは、本日の委員会はこれで終了します。</p>